

学 校 調 査

1. 幼 稚 園

(1) 園 数

幼稚園数は194園で、前年度より1園増加しました。

設置者別では、国立1園、市立147園(うち分園4園)、町立15園(同1園)、私立31園(学校法人立27園、その他の法人立4園)となっています。

園児数(在園者)別にみると、園児数1～50人が57園と最も多く、次いで51～100人が47園、101～150人が41園となっています。(表-1, 表-2, 表-3)

表-1 設置者別幼稚園数

(単位:園)

園 数	国 立	公 立			計	私 立			合 計	
		県立	市立	町立		学校法人	その他の法人	個人		
	1	-	147(4)	15(1)	162(5)	27	4	-	31	194(5)

(注) () 内の数値は分園で内数です。

表-2 園児数別幼稚園数

(単位:園)

	園 児 数 (人)								
	計	0	1～50	51～100	101～150	151～200	201～250	251～300	301～400
計	194	3	57	47	41	31	8	6	1
国立	1	-	-	-	-	1	-	-	-
公立	162	2	53	39	32	25	5	6	-
私立	31	1	4	8	9	5	3	-	1

表-3 幼稚園の園数等の推移

年度	園数	学級数	園児数	対前年度 増加率	本 務 教員数	対前年度 増加率	本務教員1人当 たりの園児数		修了者数	就 園 率	
							滋賀県	全国		滋賀県	全国
	園	学級	人	%	人	%	人	人	人	%	%
平成14	193	806	18,612	4.4	1,354	5.2	13.7	16.4	8,271	59.2	59.9
15	194	843	19,595	5.3	1,449	7.0	13.5	16.2	8,265	57.9	59.3
16	190	846	19,795	1.0	1,502	3.7	13.2	16	8,379	58.5	58.9
17	190	859	19,826	0.2	1,543	2.7	12.8	15.8	8,177	56.1	58.4
18	189	872	19,887	0.3	1,533	△ 0.6	13	15.6	8,297	57.2	57.7
19	188	882	20,047	0.8	1,585	3.4	12.6	15.3	7,996	55.8	57.2
20	190	888	20,111	0.3	1,592	0.4	12.6	15.1	8,133	55.7	56.7
21	192	890	19,558	△ 2.7	1,594	0.1	12.3	14.7	8,133	56.5	56.4
22	192	887	19,278	△ 1.4	1,646	3.3	11.7	14.5	7,871	55.9	56.2
23	193	891	19,416	0.7	1,672	1.6	11.6	14.5	7,798	56.3	55.7
24	194	920	19,674	1.3	1,749	4.6	11.2	14.5	7,347	55.0	55.1

(注) 学級数はN学級を含みます。

※N学級とは、学級が設置されているが、5月1日現在在園者がいない学級をいう。

(2)園児数

園児数は19,674人(男子10,066人、女子9,608人)で、前年度より258人増加(1.3%増)しました。

園児数を設置者別にみると、国立が159人、公立が15,773人、私立が3,742人となっています。公立の占める割合は80.2%で、前年度より1.1ポイント低下しました。

また、本務教員1人当たりの園児数は11.2人(対前年度0.4人減)で、全国平均14.5人と比べると3.3人少なくなっています。過去10年間をみると減少傾向にあり、10年前の平成14年度(13.7人)と比べると、2.5人減となっています。(表-3, 統計表第1表)

(3)学級数

学級数(N学級*を含む)は920学級(国立5学級、公立752学級、私立163学級)で、前年度より29学級増加しました。N学級は17学級でした。

次に、在園児のいる903学級を編制方式別にみると、3歳児のみが243学級(構成比26.9%)、4歳児のみが320学級(同35.4%)、5歳児のみが323学級(同35.8%)、3歳児と4歳児と5歳児の合同が17学級(同1.9%)となっています。

また、収容人数別では、21~25人が247学級(構成比27.4%)と最も多く、次いで1~15人が189学級(同20.9%)、16~20人が186学級(同20.6%)、26~30人が161学級(同17.8%)となっています。(表-3, 統計表第1表, 第3表, 第4表)

*N学級とは、学級が設置されているが、5月1日現在在園者がいない学級をいう。

(4)教員数

本務教員数は1,749人(男子84人、女子1,665人)で、前年度より77人増加(4.6%増)しました。

男女の割合では、男子教員4.8%、女子教員95.2%と女子教員がほとんどを占めており、過去10年間でもほぼ同様の構成比となっています。(表-3, 表-4)

表-4 本務教員の男女の割合

(幼稚園)

年度	計	男子教員	女子教員	男子教員の割合	女子教員の割合
	人	人	人	%	%
平成 14	1,354	47	1,307	3.5	96.5
15	1,449	52	1,397	3.6	96.4
16	1,502	49	1,453	3.3	96.7
17	1,543	51	1,492	3.3	96.7
18	1,533	48	1,485	3.1	96.9
19	1,585	48	1,537	3.0	97.0
20	1,592	53	1,539	3.3	96.7
21	1,594	55	1,539	3.5	96.5
22	1,646	60	1,612	3.6	96.4
23	1,672	60	1,612	3.6	96.4
24	1,749	84	1,665	4.8	95.2

(5) 修了者数および就園率

平成24年3月の幼稚園修了者数は7,347(男子3,757人、女子3,590人)で、前年度より451人減少(5.8%減)しました。

また、本年度の小学校第1学年児童数(13,350人)に対する幼稚園修了者の比率(就園率)は、前年度より1.3ポイント低下して55.0%となり、全国平均55.1%を0.1ポイント下回っています。(表-3)

2. 小学校

(1) 学校数

学校数は233校(本校231校、分校2校)で、前年度より2校減少しました。

設置者別では、国立1校、公立231校(うち分校2校)、私立1校となっています。(表-5,表-7)

表-5 設置者別学校数

(小学校)

	国立	公立		計	私立	合計
		市立	町立			
学校数	1	214	17	231(2)	1	233(2)

(注) () 内の数値は分校で内数です。

これを規模別にみると、児童数500人未満の学校が最も多く167校(対前年度2校減)で、全体の71.7%を占めています。500人以上1,000人未満の学校が61校(同1校減)、1,000人以上の学校が5校(同1校増)となっています。(表-6)

表-6 規模別学校数の推移

(小学校)

区分	平成19年度		20		21		22		23		24	
	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比
500人未満	173	73.0	166	70.3	166	70.6	167	70.8	169	71.9	167	71.7
500人以上1,000人未満	60	25.3	65	27.5	65	27.7	65	27.5	62	26.4	61	26.2
1,000人以上	4	1.7	5	2.1	4	1.7	4	1.7	4	1.7	5	2.1
合計	237	100.0	236	100.0	235	100.0	236	100.0	235	100.0	233	100.0

(2) 児童数

児童数は84,910人(男子43,699人、女子41,211人)で、前年度より1,185人減少(1.4%減)しました。

1学級当たりの児童数は24.1人(対前年度0.3人減)で、全国平均の24.6人より0.5人少なくなっています。過去10年間をみると減少傾向にあり、10年前の平成14年度(26.5人)と比べると、2.4人減となっています。

また、本務教員1人当たりの児童数は16.0人(対前年度0.4人減)で、全国平均の16.2人より0.2人少なくなっています。(表-7,統計表第5表)

(3)学 級 数

学級数は3,520学級で、前年度より6学級減少しました。

これを学級編制別にみると、単式学級は2,947学級（対前年度30学級減）、複式学級は17学級（同3学級増）、特別支援学級は556学級（同21学級増）となっています。

(表-7, 統計表第8表)

表-7 小学校の学校数等の推移

年度	学校数	学級数	児童数	対前年度 増加率	本 務 教員数	対前年度 増加率	1学級当たり の児童数		本務教員1人 当たりの児童数	
							滋賀県	全国	滋賀県	全国
平成 14	237(5)	3,225	85,409	△ 0.8	4,846	1.2	26.5	26.7	17.6	17.6
15	239(5)	3,242	85,170	△ 0.3	4,887	0.8	26.3	26.5	17.4	17.5
16	238(4)	3,285	85,385	0.3	4,949	1.3	26.0	26.3	17.3	17.4
17	236(4)	3,276	85,767	0.4	4,961	0.2	26.2	26.1	17.3	17.3
18	237(4)	3,417	86,465	0.8	5,006	0.9	25.3	25.9	17.3	17.2
19	237(4)	3,478	86,354	△ 0.1	5,094	1.8	24.8	25.7	17.0	17.1
20	236(3)	3,504	87,220	1.0	5,148	1.1	24.9	25.6	16.9	17.0
21	235(3)	3,526	87,258	0.0	5,205	1.1	24.7	25.4	16.8	16.8
22	236(3)	3,551	86,907	△ 0.4	5,251	0.9	24.5	25.2	16.6	16.7
23	235(3)	3,526	86,095	△ 0.9	5,264	0.2	24.4	24.9	16.4	16.4
24	233(3)	3,520	84,910	△ 1.4	5,292	0.5	24.1	24.6	16.0	16.2

(注) 学校数の()内の数値は分校で内数です。

(4)特別支援学級の在籍児童数

特別支援学級の在籍児童数は2,120人で、前年度より73人増加しました。

(表-8)

表-8 特別支援学級の種別学級数、児童数

(小学校)

区 分	児 童 数 (人)						計	学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
知的障害	183	200	189	209	236	220	1,237	259
肢体不自由	8	12	8	9	15	8	60	50
病弱・身体虚弱	2	3	4	7	3	4	23	20
弱 視	2	7	4	2	2	1	18	16
難 聴	4	1	5	5	4	2	21	19
言語障害	-	-	-	-	-	-	-	-
情緒障害	99	128	147	142	144	101	761	192
合 計	298	351	357	374	404	336	2,120	556

(5)長期欠席者数

平成23年度間（平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間）の30日以上
の長期欠席者数は871人で、前年度間より66人減少しました。

総児童数に占める割合は1.01%で、前年度間より0.07ポイント低下しましたが、全国平均の
0.79%を0.22ポイント上回りました。平成19年度間までは増加傾向にありましたが、平成
20年度間以降2年連続減少、平成22年度間微増、平成23年度間減少となりました。

長期欠席者を理由別にみると、「不登校」が349人(全体の40.1%)で最も多く、次いで「その
他」*が274人(同31.5%)、「病気」が248人(同28.5%)、「経済的理由」が0人となっ
ています。

(図-1, 表-9)

*「その他」：「病気」,「経済的理由」,「不登校」のいずれにも該当しない理由によるもの

図-1 理由別長期欠席者数の推移(小学校)

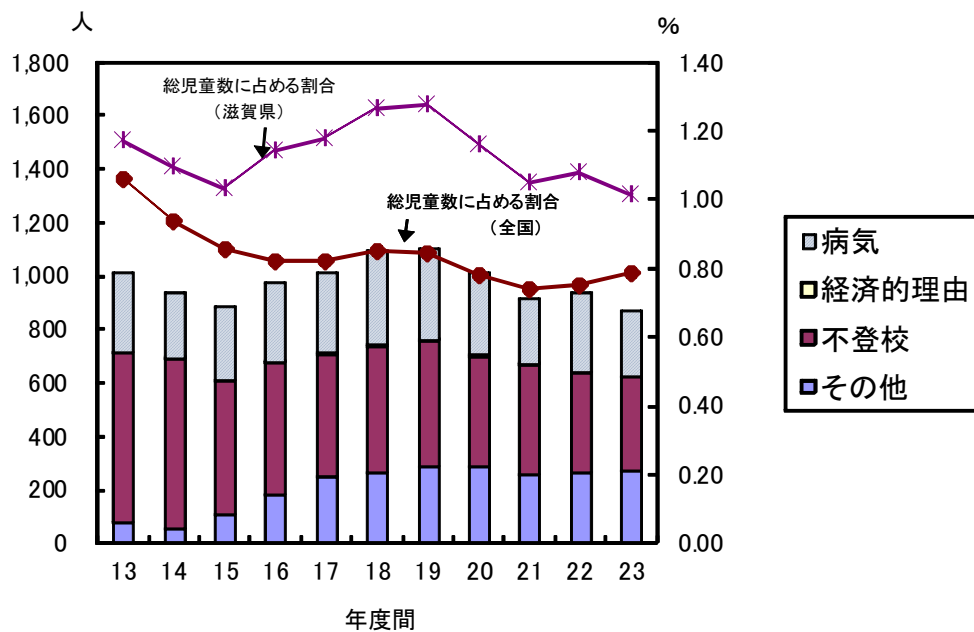


表-9 理由別長期欠席者数

(小学校)

年度間	合計	病 気	経済的理由	不登校	その他	総児童数に占める割合	
						滋賀県	全国
	人	人	人	人	人	%	%
平成 13	1,010	300	-	631	79	1.17	1.06
14	935	244	1	639	51	1.09	0.94
15	881	275	-	500	106	1.03	0.86
16	976	302	2	492	180	1.14	0.82
17	1,008	298	3	459	248	1.18	0.82
18	1,092	354	6	468	264	1.26	0.85
19	1,104	346	2	471	285	1.28	0.84
20	1,013	306	8	414	285	1.16	0.78
21	913	244	5	406	258	1.05	0.74
22	937	298	-	375	264	1.08	0.75
23	871	248	-	349	274	1.01	0.79

(2) 生徒数

生徒数は 43,221人(男子 22,205人、女子 21,016人)で、前年度に比べ210人増加(0.5%増)しました。

1学級当たりの生徒数は29.0人(対前年度0.1人減)で、全国平均29.0人と同数になっています。過去10年間をみると減少傾向にあり、10年前の平成14年度(31.2人)と比べると、2.2人減となっています。

また、本務教員1人当たりの生徒数は14.2人(対前年度0.1人減)で、全国平均の14.0人より0.2人多くなっています。(表-13, 統計表第11表)

(3) 学級数

学級数は 1,490学級で、前年度より13学級増加しました。

これを学級編制別にみると、単式学級は1,256学級(対前年度1学級増)、複式学級は0学級(同増減なし)、特別支援学級は234学級(同12学級増)となっています。(表-13, 統計表第14表)

表-13 中学校の学校数等の推移

年度	学校数	学級数	生徒数		本務教員数		1学級当たりの生徒数		本務教員1人当たりの生徒数	
			対前年度増加率	対前年度増加率	対前年度増加率	対前年度増加率	滋賀県	全国	滋賀県	全国
	校	学級	人	%	人	%	人	人	人	人
平成 14	103(1)	1,462	45,683	△ 3.4	2,967	△ 1.8	31.2	31.7	15.4	15.2
15	107(1)	1,455	44,394	△ 2.8	2,992	0.8	30.5	31.3	14.8	14.9
16	106(1)	1,438	42,785	△ 3.6	2,977	△ 0.5	29.8	31.0	14.4	14.7
17	106(1)	1,422	42,261	△ 1.2	2,960	△ 0.6	29.7	30.7	14.3	14.6
18	106(1)	1,410	41,581	△ 1.6	2,907	△ 1.8	29.5	30.4	14.3	14.5
19	107(1)	1,452	42,133	1.3	2,975	2.3	29.0	30.2	14.2	14.5
20	107(1)	1,446	41,958	△ 0.4	2,984	0.3	29.0	30.0	14.1	14.4
21	107(1)	1,452	42,412	1.1	2,988	0.1	29.2	29.7	14.2	14.4
22	107(1)	1,459	42,232	△ 0.4	2,972	△ 0.5	28.9	29.4	14.2	14.2
23	107(1)	1,477	43,011	1.8	3,016	1.5	29.1	29.2	14.3	14.1
24	107(1)	1,490	43,221	0.5	3,053	1.2	29.0	29.0	14.2	14.0

(注) 学校数の () 内の数値は分校で内数です。

(4) 特別支援学級の在籍生徒数

特別支援学級の在籍生徒数は 782人で、前年度より85人増加しました。

(表-14)

表-14 特別支援学級の種別別生徒数

(中学校)

区分	生徒数 (人)			計	学級数
	1年	2年	3年		
知的障害	178	156	139	473	105
肢体不自由	8	16	5	29	27
病弱・身体虚弱	1	4	4	9	9
弱視	2	2	2	6	6
難聴	4	2	8	14	13
言語障害	-	-	-	-	-
情緒障害	82	81	88	251	74
合計	275	261	246	782	234

(5)長期欠席者数

平成23年度間（平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間）の30日以上長期欠席者数は1,554人で、前年度間より94人減少しました。

総生徒数に占める割合は3.61%で、前年度間より0.29ポイント低下しましたが、全国平均の3.42%を0.19ポイント上回りました。平成19年度間までは増加が続いていましたが、平成20年度間以降4年連続減少しています。

長期欠席者を理由別にみると、「不登校」が1,147人(全体の73.8%)で最も多く、次いで「その他」*が231人(同14.9%)、「病気」が176人(同11.3%)、「経済的理由」が0人となっています。

(図-2, 表-15)

※「その他」：「病気」,「経済的理由」,「不登校」のいずれにも該当しない理由によるもの

図-2 理由別長期欠席者数の推移(中学校)

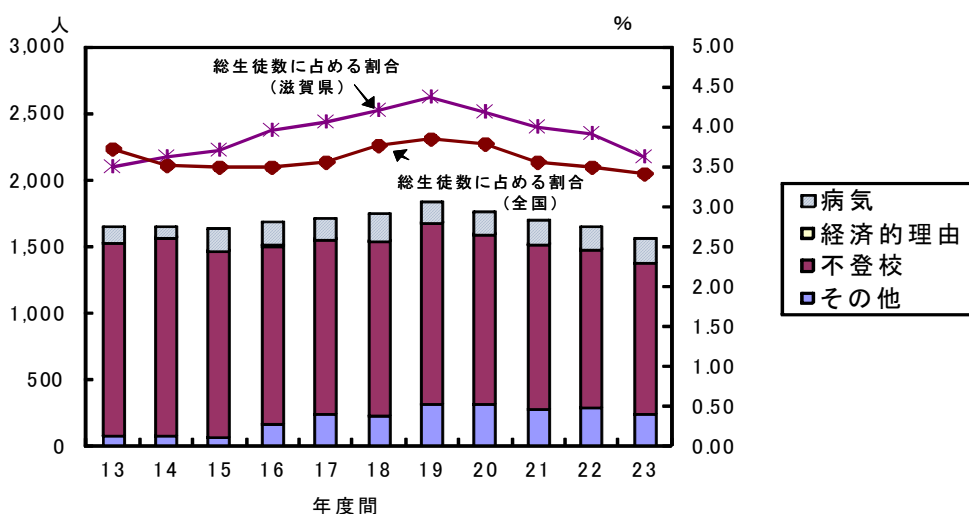


表-15 理由別長期欠席者数

(中学校)

年度間	合計	病気	経済的理由	不登校	その他	総生徒数に占める割合	
						滋賀県	全国
	人	人	人	人	人	%	%
平成 13	1,648	131	-	1,445	72	3.49	3.72
14	1,649	88	2	1,489	70	3.61	3.52
15	1,640	179	6	1,390	65	3.69	3.50
16	1,689	186	5	1,342	156	3.95	3.48
17	1,709	159	4	1,305	241	4.04	3.55
18	1,746	206	6	1,307	227	4.20	3.76
19	1,836	169	1	1,359	307	4.36	3.84
20	1,754	172	2	1,265	315	4.18	3.78
21	1,696	190	1	1,230	275	4.00	3.56
22	1,648	173	1	1,191	283	3.90	3.50
23	1,554	176	-	1,147	231	3.61	3.42

(6)教 員 数

本務教員数は 3,053人(男子 1,793人、女子 1,260人)で、前年度より37人増加(1.2%増)しました。男女の割合では、男子教員58.7%、女子教員41.3%となっています。

本務教員数は過去10年間では、ほぼ横ばいが続いてきましたが、平成23年度から増加しています。(表-13, 表-16)

表-16 本務教員の男女の割合

年 度	計	(中学校)			
		男子教員	女子教員	男子教員の割合	女子教員の割合
	人	人	人	%	%
平成 14	2,967	1,794	1,173	60.5	39.5
15	2,992	1,787	1,205	59.7	40.3
16	2,977	1,771	1,206	59.5	40.5
17	2,960	1,747	1,213	59.0	41.0
18	2,907	1,726	1,181	59.4	40.6
19	2,975	1,759	1,216	59.1	40.9
20	2,984	1,754	1,230	58.8	41.2
21	2,988	1,745	1,243	58.4	41.6
22	2,972	1,755	1,217	59.1	40.9
23	3,016	1,767	1,249	58.6	41.4
24	3,053	1,793	1,260	58.7	41.3

4. 高等学校

a 全日制、定時制課程

(1)学 校 数

学校数は58校(公立49校、私立9校)で、前年度と同数でした。

課程別では、全日制のみが51校(公立43校、私立8校)、定時制のみが3校(公立3校)、全日制と定時制の両方ある併置校が4校(公立3校、私立1校)となっています。(表-17, 表-19)

表-17 設置者別学校数

設置者別	公 立				私 立			計	合 計
	全日制	定時制	併置	計	全日制	定時制	併置		
学 校 数	43	3	3	49	8	-	1	9	58

(2)入 学 状 況

今年度の高等学校入学者数は13,248人で、前年度より359人増加しました。課程別では、公立全日制10,396人(対前年度229人増)、私立全日制2,461人(同107人増)、公立定時制201人(同8人減)、私立定時制190人(同31人増)となっています。

また、入学志願者数は25,985人で、前年度より966人増加しました。課程別では、公立全日制14,481人(対前年度532人増)、私立全日制10,810人(同317人増)、公立定時制

208人(同17人減)、私立定時制486人(同134人増)となっています。

志願倍率(入学志願者の入学定員に対する倍率)は全体で1.91倍でした。課程別では、公立全日制が1.38倍、私立全日制が4.06倍、公立定時制が0.74倍、私立定時制が3.04倍でした。

入学志願者が実際に入学した割合(入学率)は全体で51.0%でした。課程別では公立全日制が71.8%、私立全日制が22.8%、公立定時制が96.6%、私立定時制が39.1%でした。

高等学校入学者のうち他府県所在の中学校出身者は246人(男子144人、女子102人)で、前年度より25人減少(9.2%減)しました。また、入学者全体に占める割合は1.9%で、前年度より0.2ポイント低下しました。

入学者のうち過年度中学校卒業者は41人(男子32人、女子9人)で、前年度より15人減少(26.8%減)しました。入学者全体に占める割合は0.3%で、前年度より0.1ポイント低下しました。

(表-18, 統計表第18表)

表-18 高等学校課程別入学者数等

区分	入学者数 人	対前年差 人	入学志願者数 人	対前年差 人	志願倍率 倍	入学率 %	入学定員 人
公立全日制	10,396	229	14,481	532	1.38	71.8	10,480
私立全日制	2,461	107	10,810	317	4.06	22.8	2,665
公立定時制	201	△8	208	△17	0.74	96.6	280
私立定時制	190	31	486	134	3.04	39.1	160
計	13,248	359	25,985	966	1.91	51.0	13,585

(注) 志願倍率(倍) = $\frac{\text{入学志願者数}}{\text{入学定員}}$ 入学率(%) = $\frac{\text{入学者数}}{\text{入学志願者数}} \times 100$

表-19 高等学校(全日制、定時制課程)の学校数等の推移

年度	学校数				生徒数 人	対前年度 増加率 %	本務 教員数 人	対前年度 増加率 %	本務教員1人 当たりの生徒数	
	計	全日制	定時制	併置					滋賀県 人	全国 人
平成 14	58	50	4	4	43,920	△2.8	3,041	△1.2	14.4	15.0
15	58	50	4	4	42,694	△2.8	2,989	△1.7	14.3	14.7
16	58	50	4	4	42,003	△1.6	2,966	△0.8	14.2	14.5
17	58	50	4	4	40,782	△2.9	2,915	△1.7	14.0	14.3
18	58	51	4	3	39,892	△2.2	2,853	△2.1	14.0	14.1
19	58	51	4	3	38,676	△3.0	2,817	△1.3	13.7	14.0
20	58	51	3	4	38,431	△0.6	2,797	△0.7	13.7	14.0
21	58	51	3	4	38,126	△0.8	2,768	△1.0	13.8	14.0
22	58	51	3	4	38,706	1.5	2,802	1.2	13.8	14.1
23	58	51	3	4	38,606	△0.3	2,784	△0.6	13.9	14.1
24	58	51	3	4	38,954	0.9	2,806	0.8	13.9	14.1

(注) 生徒数には、専攻科生徒を含みます。

(3) 生徒数

生徒数は、総数が 38,954 人(男子 19,900 人、女子 19,054 人)で、前年度より 348 人増加(0.9%増)しました。

本科の生徒数を課程別にみると、全日制 37,632 人(公立 30,559 人、私立 7,073 人)、定時制 1,322 人(公立 833 人、私立 489 人)となっています。また、本科の生徒数を学科別にみると、全日制では、普通科が 27,088 人(全日制全体の 72.0%)で最も多く、次いで総合学科が 3,690 人(同 9.8%)、工業に関する学科が 2,410 人(同 6.4%)、商業に関する学科が 1,522 人(同 4.0%)となっています。

一方、定時制では、普通科が 878 人(定時制全体の 66.4%)、工業に関する学科が 248 人(同 18.8%)、家庭に関する学科が 115 人(同 8.7%)、商業に関する学科が 81 人(同 6.1%)となっています。

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 13.9 人(対前年度同じ)で、全国平均 14.1 人より 0.2 人少なくなっています。過去 10 年間をみると減少傾向にありましたが、平成 20 年度以降はほぼ横ばいとなっています。

(表-19, 図-3, 図-4, 図-5, 統計表第 21 表)

図-3 学科別生徒割合(本科全日制)

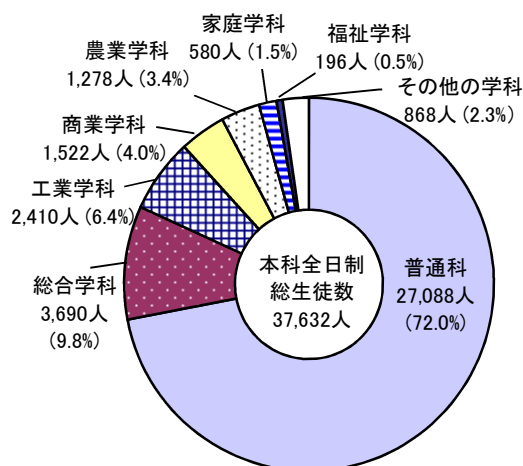


図-4 学科別生徒割合(本科定時制)

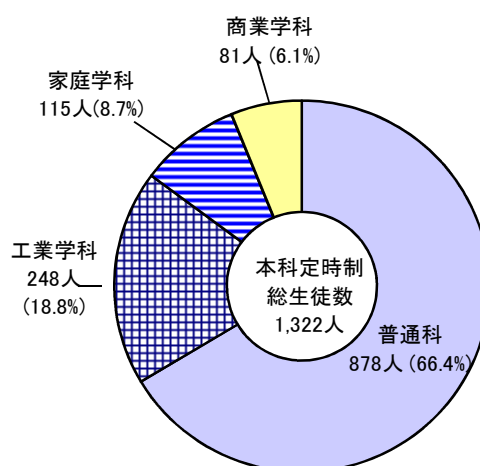
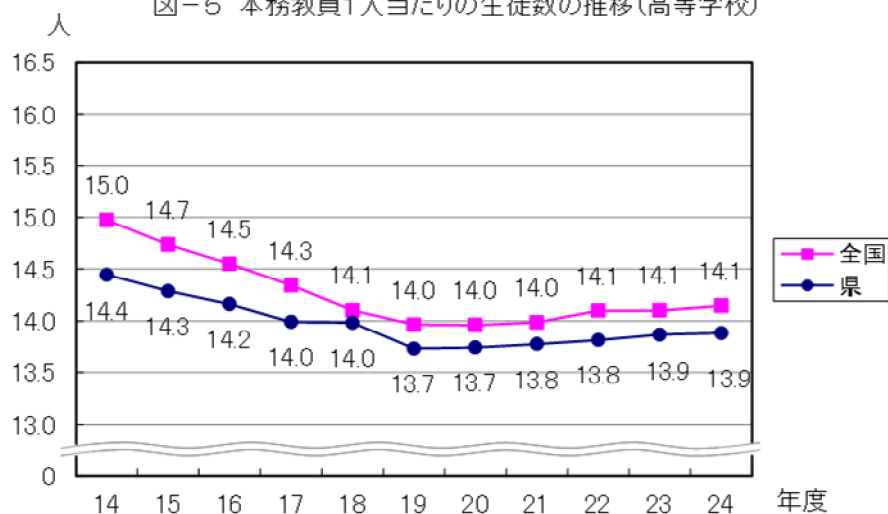


図-5 本務教員1人当たりの生徒数の推移(高等学校)



(4)教職員数

本務教員数は2,806人(男子1,938人、女子868人)で、前年度より22人増加(0.8%増)しました。

これを課程別にみると、公立全日制2,203人(男子1,498人、女子705人)、私立全日制485人(男子348人、女子137人)、公立定時制96人(男子80人、女子16人)、私立定時制22人(男子12人、女子10人)となっています。

また、男女の割合は男子教員69.1%、女子教員30.9%でした。

本務教員数は、10年前の平成14年度(3,041人)と比べると、7.7%減となっています。

一方、職員※数(本務者)は560人(男子285人、女子275人)で、前年度より3人増加しました。

(表-19, 表-20, 統計表第23表, 第24表)

※職員：事務職員、実習助手、学校図書館事務員、技術職員、養護職員(看護師等)、用務員等をいう。

表-20 本務教員の男女の割合

(高等学校)

年度	計	男子教員		女子教員		男子教員の割合		女子教員の割合	
		人	人	人	人	%	%	%	%
平成 14	3,041	2,187	854	71.9	28.1				
15	2,989	2,151	838	72.0	28.0				
16	2,966	2,116	850	71.3	28.7				
17	2,915	2,090	825	71.7	28.3				
18	2,853	2,053	800	72.0	28.0				
19	2,817	2,015	802	71.5	28.5				
20	2,797	1,996	801	71.4	28.6				
21	2,768	1,978	790	71.5	28.5				
22	2,802	1,982	820	70.7	29.3				
23	2,784	1,945	839	69.9	30.1				
24	2,806	1,938	868	69.1	30.9				

b 通信制課程

(1)学 校 数

学校数は4校(通信制課程のみの独立校が2校、定時制課程との併置校が1校、全日制・定時制課程との併置校が1校)で、前年度と同数でした。

(2)生 徒 数

生徒数は1,691人(男子899人、女子792人)で、前年度より61人減少(3.5%減)しました。

(3)教 員 数

本務教員数は55人(男子40人、女子15人)で、前年度より3人増加(5.8%増)しました。

(表-21, 統計表第55表, 第56表, 第59表)

表-21 高等学校(通信制課程)の学校数等の推移

年度	学校数	生徒数		本務教員数	
		人	対前年度増加率	人	対前年度増加率
	校	人	%	人	%
平成 14	3	1,762	△ 0.5	41	△ 2.4
15	3	1,793	1.8	43	4.9
16	3	1,816	1.3	41	△ 4.7
17	3	1,853	2.0	42	2.4
18	3	1,882	1.6	41	△ 2.4
19	3	1,800	△ 4.4	40	△ 2.4
20	4	1,909	6.1	61	52.5
21	4	1,839	△ 3.7	53	△ 13.1
22	4	1,783	△ 3.0	57	7.5
23	4	1,752	△ 1.7	52	△ 8.8
24	4	1,691	△ 3.5	55	5.8

5. 特別支援学校

(1) 学校数

学校数は15校(国立1校、県立14校)で、前年度と同数でした。

(2) 在学者および学級数

在学者の総数は2,077人(男子1,354人、女子723人)で、前年度より93人増加

(4.7%増)しました。内訳は幼稚部22人(対前年度5人減)、小学部663人(同14人増)、中学部510人(同49人増)、高等部882人(同35人増)となっています。

学級数は512学級で、前年度より13学級増加しています。

(3) 教職員数

本務教員数は1,203人(男子478人、女子725人)で、前年度より23人増加(1.9%増)しました。

職員[※]数(本務者)は172人(男子76人、女子96人)で、前年度より9人減少しました。

※職員：事務職員、技術職員、寄宿舎指導員、実習助手、養護職員(看護師等)、学校栄養職員、学校給食調理従業員、用務員等をいう。

(4) 通学状況

在学者2,077人の通学状況をみると、家庭から通学している者が1,876人(在学者総数の90.3%)で最も多く、次いで、児童福祉施設からが102人(同4.9%)、寄宿舎からが55人(同2.6%)、その他の医療機関からが27人(同1.3%)、国立療養所重心病棟からが17人(同0.8%)の順となっています。

(表-22, 統計表第25表, 第27表, 第28表, 第29表, 第30表)

表-22 特別支援学校の学校数等の推移

年度	学校数	学級数	在学者数	本務教員数
	校	学級	人	人
平成 14	14 (1)	390	1,175	921
15	14 (1)	399	1,227	933
16	13	407	1,290	961
17	13	400	1,346	961
18	14	418	1,440	1,002
19	15	430	1,530	1,024
20	15	455	1,618	1,058
21	15	460	1,706	1,084
22	15	470	1,853	1,109
23	15	499	1,984	1,180
24	15	512	2,077	1,203

- (注) 1. 生徒数には、専攻科生徒を含みます。
 2. 学校数の () 内の数値は分校で内数です。
 3. 平成14年度から平成18年度までの各数値は、盲・聾・養護学校の合計数です。

6. 専修学校

(1) 学 校 数

学校数は27校で、前年度と同数でした。

設置者別では、公立6校、私立21校となっています。

(2) 生 徒 数

生徒数は2,345人(男子773人、女子1,572人)で、前年度より101人増加(4.5%増)しました。

設置者別では公立1,033人、私立1,312人で、私立の占める割合は55.9%となっています。

また、課程別では専門課程2,253人(生徒全体の96.1%)、高等課程91人(同3.9%)、一般課程1人(同0.0%)でした。

学科別では、看護が1,407人(生徒全体の60.0%)と最も多くなっています。

入学状況をみると、今年度の入学定員は1,595人で、このうち春期の入学定員は1,515人でした。これに対し、春期の入学志願者数は2,387人で、入学志願率は1.5倍でした。

(3) 教 員 数

本務教員数は219人(男子66人、女子153人)で、前年度より18人増(9.0%増)しました。設置者別にみると、公立82人、私立137人となっています。

(表-23, 統計表第31表, 第32表, 第35表)

表-23 学 科 別 生 徒 数

(専修学校)

学 科 名	生 徒 数	割 合	学 科 名	生 徒 数	割 合
	人	%		人	%
工業関係その他	33	1.4	理学・作業療法	212	9.0
農 業	44	1.9	介 護 福 祉	40	1.7
農業関係その他	72	3.1	情 報	8	0.3
看 護	1,407	60.0	和 洋 裁	32	1.4
准 看 護	64	2.7	ス ポ ー ツ	115	4.9
歯 科 衛 生	103	4.4	文化教養関係その他	95	4.1
歯 科 技 工	26	1.1			
柔 道 整 復	94	4.0	合 計	2,345	100.0

7. 各種学校

(1) 学校数

学校数は12校で、前年度より1校増加しました。

設置者別では、12校全て私立となっています。

(2) 生徒数

生徒数は765人(男子335人、女子430人)で、前年度より108人増加(16.4%増)しました。

また、修業年限別では修業年限1年未満の課程の生徒は509人(生徒全体の66.5%)、1年以上の課程の生徒は256人(同33.5%)でした。

課程別では、自動車操縦が488人(生徒全体の63.8%)と最も多くなっています。

(3) 教員数

本務教員数は73人(男子45人、女子28人)で、前年度より14人増加(23.7%増)しました。

(表-24, 統計表第36表, 第37表, 第39表)

表-24 課程別生徒数

(各種学校)

課程名	生徒数	割合	課程名	生徒数	割合
	人	%		人	%
准看護	28	3.7	外国人学校	212	27.7
商業実務関係その他	16	2.1	電子計算機	21	2.7
自動車操縦	488	63.8			
			合計	765	100.0

不就学学齢児童生徒調査

1. 就学免除者および就学猶予者数

学校教育法第23条および同法第39条第3項に規定する就学の免除または猶予を受けた学齢児童生徒は、就学免除者が5人(児童3人、生徒2人)、就学猶予者が1人(児童1人)でした。

2. 居所不明者数と死亡者数

1年以上居所不明者は児童6人(前年度7人)、生徒4人(同1人)となっています。また、平成23年度間の学齢児童生徒死亡者は児童1人(前年度2人)、生徒2人(同0人)でした。

(表-25, 統計表第61表)

表-25 不就学学齢児童生徒数の推移

(小学校・中学校の合計数)

区分/調査年度	平成19年度	20	21	22	23	24
就学免除者	3	2	3	3	4	5
就学猶予者	-	-	-	-	1	1
1年以上居所不明者	2	4	4	8	8	10
学齢児童生徒死亡者	7	1	3	7	2	3